

介護の世界で、プロとして活躍してみませんか？

人間は誰もが年齢を重ねるごとに、体力や理解力などが失われていきます。そのような中で、人としての尊厳を守りながら、その人らしさを取り戻すようなケアに携わる介護の仕事は、とてもやりがいのある尊い仕事です。今は、福祉機器を利用したノーリフティングケアが普及しつつあり、介護者の腰痛など身体的負担が軽減されることで生まれる余裕から、介護される方にさらに寄り添ったケアが可能になります。また、ICTや介護ロボットの導入による科学的裏付けに基づく介護の研究も進んでおり、介護スタッフの働き方やサービスの質の向上がいつそう期待されています。発展しつづける介護の世界で、情熱と誇りを持ってプロとして活躍してみませんか。



社会福祉法人 若山会
特別養護老人ホーム 若葉苑
施設長 原田 権二氏

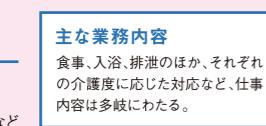
介護施設の種類とその特徴



入所施設



老人ホーム



主な業務内容

食事・入浴・排泄のほか、それぞれの介護度に応じた対応など、仕事内容は多岐にわたる。

必要な資格

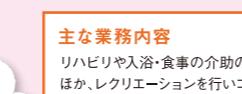
無資格でも就業可能。就業前後に介護職員初任者研修や実務者研修を修了する場合が多い。

利用者の傾向

介護老人保健施設は要介護1以上、特別養護老人ホームの場合は要介護3以上など、施設によって異なる。



通所施設



主な業務内容

リハビリや入浴・食事の介助のほか、レクリエーションを行いコミュニケーションを促進する。

必要な資格

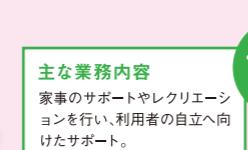
無資格でも就業可能。就業前後に介護職員初任者研修や実務者研修を修了する場合が多い。

利用者の傾向

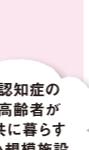
要支援1から要介護5まで。比較的介護度の低い方が多い。



訪問介護



認知症高齢者 グループホーム



24時間体制の支援により、介護の幅広い知識と経験を増やしていく方などにおすすめです。

主な業務内容

利用者の自宅で、食事・入浴・排泄などの身体介護や、掃除・洗濯・買物などの生活支援を行う。

必要な資格

介護職員初任者研修。

利用者の傾向

要支援1から要介護5まで幅広い。

主な業務内容

家事のサポートやレクリエーションを行い、利用者の自立へ向かえたサポート。

必要な資格

無資格でも就業可能。就業前後に介護職員初任者研修や実務者研修を修了する場合が多い。

利用者の傾向

要支援2以上の認知症の方。

*但し2017年4月の基準緩和により、一定の研修(自治体によって異なる)を受講すれば、介護予防・日常生活支援総合事業の業務に携わることが可能になり、介護職員初任者研修の修了を必要としない場合もあります。



1対1でじっくり利用者に向き合いたい方、自分の都合に合わせた時間で働きたい方などにおすすめです。

主な業務内容

家庭的な雰囲気の中で働きたい方、認知症に関する知識や理解を深めたい方などにおすすめです。

必要な資格

介護職員初任者研修。

利用者の傾向

要支援1から要介護5まで幅広い。

主な業務内容

さまざまな介護福祉のしごとを無料で紹介しています。

まずはお気軽にお問い合わせを!

大分県福祉人材センター

所在地 870-0161 大分県大分市明野東3丁目4-1

電話 097-552-7000

H P <https://oita-fjc.jp>



大分県の介護福祉の魅力を発信！

OPEN OITA PROJECT では
上記のような記事を随時アップしています。



ぜひ
チェックを！

介護職のイマを発信！
進化し続ける



特集_介護職のさまざまな仕事内容

オオイタ

介護のシゴトガイド

発行／大分県福祉保健部高齢者福祉課



来るのを
楽しみにして
もらえる場所に



介護プロフェッショナル

通所施設
でのお仕事

散歩に出かけるために、車椅子利用の方を車椅子から車に移乗させる際、笑顔で話しかける後藤さん

Profile

介護職員
後藤 慶也さん(36歳) 2020年入職
社会福祉法人 若山会 デイサービスセンター「ドリーム」

④1日のスケジュール

8:15	出勤、利用者様のお迎え
9:15	リハビリ介助、入浴介助
12:00	昼食介助
13:00	休憩
14:00	散歩、レクリエーション、買い物支援
15:00	おやつ介助
16:00	利用者様のお送り
17:00	施設内の掃除
17:15	退勤

日帰りで通う利用者様を支援

デイサービス(通所介護事業所)は、ご自宅で生活されている要支援、要介護1~3の比較的介護度の低い方が、主にリハビリのために利用されるサービスで、週2~3回利用されることが多いです。たとえば、ご自宅で生活していて歩くことが難しくなってきた方などが在宅生活を続けていくために、私たちがリハビリなど、身体的機能の維持向上を支援しています。独居の場合はもちろんですが、同居のご家族だけでは生活の支援が難しい場合などに、ケアマネジャーとの相談の上で支援内容を決めて利用していただきます。

私の仕事は、利用者様のお迎えからはじまります。同エリアの利用者様数人のご自宅まで順番に車で迎えに行き、デイサービスセンターまでお連れします。9時15分から16時頃まで、リハビリや入浴、昼食や散歩、レクリエーション、買い物などの支援をした後、ご自宅までお送りしています。利用者様は近隣エリアに住まわれている方が多く、デイサービスは地域の方々の交流拠点にもなっています。

コミュニケーションを大切に

利用者様は、全体的にコミュニケーションをとれる方が多く、毎日色々なお話ができるのが楽しいです。今のお体の状態やご要望もご自身でお話してくれるので、その方に合わせたケアができるようになります。また、送迎の時に同居のご家族とお会いすることが多いので、利用者様のその日の様子や気になったことはお伝えするようにしています。ご家族から、ご自宅での様子やご要望などをお聞きすることも大事な仕事です。ご本人やご家族からのお話は職員で共有して、内容によってはケアマネジャーに相談して支援内容を変更することもあります。

どの現場でもそうなのですが、職員間での情報共有はやはり重要です。どの利用者様をどの職員が支援することになっても、同じように適切で質の高いケアを提供できるように、他の職員のみなさんと一緒に頑張っていきたいです。将来的にケアマネジャーになりたいと思っているので、介護支援専門員の資格を取得するのが今の大好きな目標です。

来るのを
楽しみにして
もらえる場所に

Voice

記事のフルバージョンは
←「OPEN OITA WEB」に掲載中!
合わせてチェックを!
<http://www.open-oita.jp>

家庭的な
温もりを
大切にしたい

入所施設
でのお仕事

福祉機器を利用することにより、介護者と入所者双方の負担を軽減できるノーリフティングケアを導入している

④1日のスケジュール

9:50	朝礼
10:00	おむつ交換・離床・体位交換・入浴介助
12:00	食事介助
13:00	休憩
14:30	おやつ準備～介助
16:00	トイレ誘導・コール対応
17:00	夕食準備(配膳・配薬)～介助
18:00	トイレ誘導・コール対応
19:00	退勤

*夜勤は22:00～翌朝7:00



サービス提供責任者
佐藤 由香里さん(41歳) 2010年入職
社会福祉法人 若山会 ヘルバーステーションわかば

*2015年～2018年 特別養護老人ホーム勤務

利用者様の
「できること」を
奪わない!!



Profile

訪問介護員・介護福祉士
衛藤 加代さん(41歳) 2013年入職
社会福祉法人 若山会 ヘルバーステーションわかば

訪問介護
でのお仕事

体温計や血圧計、サービス記録シート、エプロン、グローブなどは、訪問先に必ず持っていくヘルパーに欠かせない仕事道具

④1日のスケジュール

9:00	出勤
9:30	支援①(排泄介助・掃除)
10:30	支援②(調理)
12:00	休憩
13:30	支援③(服薬確認・買い物)
15:00	支援④(入浴介助)
16:00	事務作業
17:00	退勤

家庭のような温かい雰囲気づくり

特養は多くの入所者様が亡くなるまで生活する“家”的な場所です。長い方だと10年くらい入所されるので、ご自宅にいるように心地よく過ごしてもらいたい、という思いを持って支援させていただきました。介護度はもちろん、生きてきた背景や大事にしているものがそれぞれに異なる入所者様一人ひとりを支援していくなかで、少しづつ心が通じ合い、信頼してもらえるようになると嬉しかったですね。

特養では、入所者様の看取りをするのも大切な仕事です。入所者様にとって、住み慣れた自分のお部屋で最期を迎えるということになります。看取り期に入ったらお部屋にソファベッドをご用意して、ご家族と一緒に過ごしていただきます。お別れは辛いのですが、入所者様の穏やかな最期をご家族と職員とで見送るのは、特養ならではの貴重な経験だと思っています。